

## 第1回脳卒中カフェのご報告

1月27日に、第1回「脳卒中カフェ」を当院新東棟2階にある回復期リハビリテーション病棟訓練室で開催しました。脳卒中による障害でふさぎ込みがちな方を孤立させないよう支援し、何でも気軽に相談できる場を作ることが目的です。

当日は、9名の方にご来場いただき、そのうち7名が患者様とご家族で、他施設のケアマネジャー、看護師の方に加え、新聞記者も取材にいらっしやいました。

当日は、「ミニ講演」、「健康体操」、「お菓子作り・おしゃべり・悩み相談」のプログラムをご用意しました。

ミニ講演「住みよい住環境づくりのコツ」では、岩戸健一郎作業療法士が障害に合わせた住環境づくりについて、写真を多用して具体例を挙げて講義しました。

健康体操では、「自宅でできるストレッチ」と、「365歩のマーチに合わせた運動」を参加者とともに実践しました。

身体が温まったところでお菓子作りを開始。

たこ焼き器を活用したベビーカステラ作りでは、参加者の間に理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師がサポートスタッフとして加わり、完成後は一緒にテーブルを囲みました。

体操で体がほぐれるにつれて参加者の方の表情が和らぎ、テーブルを囲む頃には冗談を言い合うほどに打ち解けていました。

参加者のご家族からは「家にいるときと違って、楽しそうな表情をしていたのが印象的でした。来てよかったです」、「楽しかったです」などの声をいただきました。帰りがけには、診察の予約や、ソーシャルワーカーへの相談をしていた方もいらっしやいました。

次回は3月24日(土)15時30分から、同じ場所で開催します。



岩戸作業療法士によるミニ講演



意外とはまる?! ベビーカステラ作り



味見も重要です